

1月下旬より  
全国書店にて  
発売開始

拓殖大学OBの熱誠・無私の半生を描く！

# 朝鮮で 聖者と呼ばれた 日本人

しげまつまさなお

——重松嗣修物語 田中秀雄【著】



四六判上製／本体価格 2000 円

## 本書の内容

愛媛・松山に生まれ、東洋協会専門学校（拓殖大学の前身）を卒業後、大正六年（一九一七）に朝鮮金融組合理事となった重松嗣修（まさなお）。万歳騒擾事件（三・一独立運動）の際に被弾し右足が不自由となるも「朝鮮を立派にしよう」と使命感を燃やし、私財を投じて平安南道の寒村に副業（養鶏）を根付かせ、卵の代金を貯金させて耕牛を買うとのシステム（「卵から牛へ」）を作りあげた。重松の熱意はしだいに浸透し、やがて農民たちは彼を「聖者」と仰ぎ、感謝の気持ちを示すべく頌徳碑を建てる——。終戦までの三十一年間をかの地で過ごし、農村振興に邁進した熱誠・無私の半生を重ねて、日本の朝鮮統治の実相を描き出した力作評伝。

草思社 営業部 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨4-7-5 TEL 03(3576)1002 FAX 03(3576)2025

※ お近くの書店でお求めになれます。左の注文書をご利用下さい。

キリトリ線

注文書	
書店様帖合印 (書店にて記入します)	
注文	
冊	草思社 田中秀雄
ご住所	TEL ( )
お名前	TEL ( )
朝鮮で聖者と呼ばれた日本人 ——重松嗣修物語 しげまつまさなお	ISBN 978-4-7942-1747-9
	本体価格 2000 円